



令和3年度 福島区 あぼんぜんい マップ

- 凡 例**
- 災害時避難所**
宿泊・給食等の生活機能を提供できる施設。小・中学校など。
 - 一時避難場所**
一時的に避難できる広場、公園や学校の校庭など。
 - 広域避難場所**
同時多発火災が発生し、人命に著しい被害を及ぼすと予測される場合の避難に適する大きな公園など。
 - 津波避難ビル**
津波が来る恐れがあり建物の3階相当以上に避難する必要がある場合に避難施設として協定を結んでいる施設
 - 救急病院**
 - 避難路**
 - 福祉避難所**

— 区の境界

● 大雨による被害があった場所
(平成24年8月)



自宅周辺の安全を確認しましょう

自宅周辺の安全性や安全な避難経路・避難場所(災害時避難所・津波避難ビル等)を確認しておきましょう。

福島区ぼうさいあんぜんマップ
地域別防災計画・防災マップ



各マップは区役所5階で配布しています。ぜひご自身の地域分を保存しておいてください。



水害ハザードマップ



ハザードマップは7月より順次全戸に配布します。
確認・保存していただくをお願いします

水害のおそれがある時の避難 情報の発令対象区域

淀川の避難情報の発令対象区域

区域A	淀川が氾濫した場合に1時間で浸水するおそれがある区域を含む行政区	海老江、大開、吉野、鷺洲、福島6～8丁目
区域B	淀川が氾濫した場合に1時間～3時間で浸水するおそれがある区域	野田2、3、5、6丁目、玉川、福島1～5丁目
区域C	淀川が氾濫した場合に3時間以上経過して浸水するおそれがある区域	野田1、4丁目



▲淀川増水の様子

高潮の避難情報の発令対象区域(福島区を含む19区の全域)

大阪府が想定した浸水区域のうち、床上浸水以上が想定される浸水深50センチメートル以上の範囲



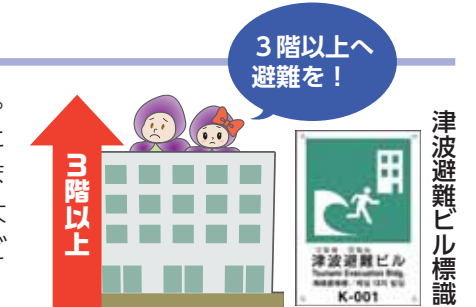
災害に備えよう 豪雨・台風接近時の 河川は危険です!

福島区の水害想定について

南海トラフ巨大地震は、今後30年以内に70～80%の確率で発生し大きな被害をもたらすと想定されています。さらに福島区は大阪湾から近く、また、年々、大雨や台風、猛暑などの自然災害が深刻化しています。地震発生した場合の津波被害や台風、大雨による浸水等の被害を受ける可能性が高くなっています。

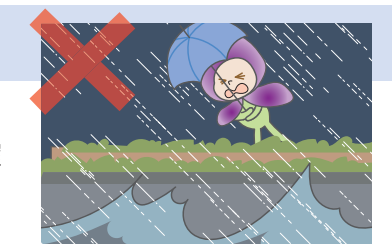
避難が必要になったら

大きな横揺れが1分以上続けば海溝型地震です。津波が発生する可能性があり、少しでも早く、高いところ(高い建物の3階以上)へ逃げる必要があります。区内の小学校や中学校など公的な施設のほか、大阪市が指定する「津波避難ビル(右の標識のあるビル)」を確認しておき、すぐに避難してください。



増水した河川には近づかないで!

台風接近時や豪雨の時は、むやみに外出しないようにしましょう。特に堤防や河川には近づかないで河川情報を確認しましょう。
8面の防災情報一覧をご参照ください。



津波避難ビルを募集しています!

大阪市では十分な避難受け入れのため、津波避難ビルの確保に取り組んでいます。津波避難ビルとしての登録にご賛同・ご協力いただける区内の企業、ビル・オーナーの皆さまは、ぜひ、担当までご連絡いただきますようお願いいたします。

基準 昭和56年の新耐震基準をクリアした鉄骨鉄筋コンクリート造または鉄筋コンクリート造の3階建以上の建物

協定締結 ビル所有者様・区役所・町会の三者で使用条件等を協議し、協定を締結します。

令和3年5月20日から避難情報が変わりました!

警戒レベル4までに必ず避難!

	新たな避難情報等	避難行動等
警戒レベル5	災害発生 又は切迫 緊急安全確保 ※1	新たな避難情報など警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待ってはいけません!
警戒レベル4	災害のおそれ高い 避難指示 ※2	避難勧告は廃止されました。これからは、警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。
警戒レベル3	災害のおそれあり 高齢者等避難 ※3	避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3 高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。
2	気象状況悪化 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
1	今後気象状況悪化のおそれ 早期注意情報 (気象庁)	災害への心構えを高めましょう。

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。